

組織円滑化 10訓

1. 個人を疑わず、組織とシステムを疑う

「組織の力」は平凡な社員を非凡な社員へ導くからである。個人を評価する前に組織とシステムの良否を疑うこと。

2. 完璧をはき違えない

不完全を容認することにより、調和の取れた完璧な組織が育つからである。欠点を認め調和を図ること。

3. 一心同体となった調和の取れた組織を作る

組織の和は求めるものではなく、生まれるものだからである。そのためには、共通の考えを経営理念に定め、社員の心を一つにまとめること。

4. 快適職場を作る

快適な職場は風通しの良さから生まれる。そのためには、見えるかい？聞こえるかい？言えるかい？と問いかけること。

5. ホーレンソウ(報告、連絡、相談)が育つアルカリ土壌を作る

そのためには、どんなことにも「アル(有る)かもしれない」「カリ(仮に)やってみよう」と否定しないでやってみること。

6. ムラムダムリをなくす

ムラをなくすとムダやムリがなくなる。この順序にて取り組むこと。

7. 全ての情報に情け(なさけ、おもいやり)を持たせて発信する

会社を発展させて下さるのはお客様や関係者の暖かい善意の心である。その心を得るには、常に相手の立場に立ち、同じものさしを持つこと。

8. 仕事の出来る人と人間が出来た人を分けて配置する

仕事の出来る人は、業績を上げる能力を持つ人。
人間が出来た人は、人をまとめる能力を持つ人である。

9. 仕事は忙しい人に任せる

忙しい人は、責任感と達成意欲を持ち、時間内にやり遂げるからである。

10. 人と人との関係は、全ていい加減を保つ

“いい加減”とは、互いの調和の心により生まれるものだからである。

